

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 雙葉中学校・高等学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
所在地 〒 102-8470
東京都千代田区六番町14-1
E-mail _____
Website http://www.futabagakuen-jh.ed.jp/chuko/ck-top.html
幼児児童生徒数 男子 0名 女子 1083名 合計 1083名
幼児・児童・生徒の年齢 12歳～18歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

中学 3 年の広島への修学旅行の実施に際して、平和の問題について考え、平和の大切さを理解することに努めた。また世界遺産である宮島の厳島神社を見学し、舞楽の奉納を鑑賞して伝統文化に触れた。

具体的な取り組みとしては、以下の通りである。

◎学年として

旅行前

* 総合学習としての位置づけで、中学 3 年生の卒業前の時期に、平和スピーチとして全体に発表する機会を設けた。それに向けて、中学 2 年の三学期に全体に向けて説明をした。5 月の修学旅行後に、平和スピーチのテーマを決めることとした。

* 「広島修学旅行ハンドブック」を朝礼・学活を利用して読む。

- * 「ぼくはヒロシマを知らなかった～平和記念公園物語」(NHK 特集より)を見て、碑巡りの計画を班ごとに立てる。
- * 「平和を求める祈り」を朝礼時の祈りとする。

旅行中

- * 平和記念公園で、語り部の方(5名)のお話をグループごとに伺う。
- * 班ごとに碑巡りをして、原爆資料館を見学する。
- * 夜は、班ごとのミーティングをして、振り返りを分かち合う。
- * 班ごとに、語り部の方にお礼状を書く。

◎宗教

旅行前

- * 戦争と平和について班ごとに話し合い、発表して、内容についての分かち合いを行う。
- * 「焼き場に立つ少年」の写真を見て、当時のことを考えさせる。
- * 「被爆者の証言」を読み、ビデオ「ヒロシマ・ナガサキ」を見る。
- * 関千枝子著『広島第二県女二年西組』の一部を紹介。
- * 「平和のための祈りの集い」(旅行三日目)の準備、共同祈願を考える。

旅行後

- * 「自分のテーマ」を決めて広島に行ってみた思いを書く。(後日編集印刷)
- * 「祈りの集い」での神父の話に関連して、カンボジアの地雷撤去に関するビデオを見る。

◎国語

旅行前

- * 小説『黒い雨』(井伏鱒二)の一部を読み、小説全体にも触れる。
- * 詩『挨拶』(石垣りん)を読む。その他の原爆についての詩も紹介する。

旅行後

- * 修学旅行についての作文を書く。

◎英語

旅行前

- * Shin's Tricycle「伸ちゃんの三輪車」を英語で読み、原爆資料館に展示されている三輪車について知る。
- * この物語の感想文を書く。

◎社会

旅行前

- * ビデオ「核の時代・究極の兵器水爆登場」を見る。
- * 原爆投下の背景や被害の大きさ、原爆病などに関するプリントを読む。
- * 原爆慰霊碑の碑文に関する文章を読む。(土門拳『生きているヒロシマ』)

旅行後

- * 授業で「平和主義」を学ぶ中で、平和にとって核兵器の持つ問題性や、核軍縮について改めて考える。

◎理科

旅行前

- * 核反応（核融合・核分裂）および反応生成物について学ぶ。
- * 放射線の種類と人体への影響について具体的に知る。
- * 原子爆弾について、ヒロシマ・ナガサキの爆弾の違いを学ぶ。
- * 原子力発電のしくみを知る。

◎音楽

旅行前

- * 舞楽について、奉納される舞と演奏される楽器について学ぶ。（ビデオ）
- * 平和のための「祈りの集い」で歌う合唱曲の練習をする。

旅行中

- * 宮島・厳島神社の能舞台での蘭陵王の奉納を鑑賞する。
- * 「祈りの集い」で合唱する。

◎平和スピーチ

旅行後に、どのようなテーマにしたか、題名を担任に提出し、スピーチの内容を1200～1600字にまとめて、夏休み明けに提出した。

2学期は、朝礼と学級活動時に各クラスで順番に発表（スピーチ）していき、最後にクラス3名ずつ選出して、12名が中学2～3年生に向けて全体会で発表した。

また、学年全員のスピーチを1冊の本として編集して、3年生各自に卒業文集として渡した。本のタイトルは「未成年の主張」である。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 修学旅行中)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

活動内容の項目を参照のこと。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

生徒が「平和」をテーマとして考えるにあたって、教科横断的な指導計画に基づき、教科の授業で事前・事後学習に取り組んだ。また学級活動の時間には、ハンドブックを読み、ビデオを見て理解を深め、班で碑巡りの計画を立てるなど、事前学習に取り組んだ。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

現在検討中。